

「横浜市都市計画マスタープラン戸塚区プラン」改定原案に対する 市民意見募集の実施結果について

戸塚区では、「横浜市都市計画マスタープラン戸塚区プラン」の改定にあたり、平成29年7月に改定原案を公表し、市民意見募集を実施しました。市民の皆さまから、貴重なご意見、ご提案等を頂き誠にありがとうございました。

このたび、その実施結果と、いただいたご意見等についての本市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表いたします。

1 実施概要

意見募集期間	平成29年7月20日（木）から平成29年8月3日（木）
意見提出方法	郵送、FAX又はEメール
改定素案（全文）の 公表場所	<ul style="list-style-type: none">・戸塚区総合庁舎9階区政推進課・区内各地区センター・横浜市庁舎1階市民情報センター・横浜市庁舎6階都市整備局地域まちづくり課・戸塚区ホームページ

2 実施結果

提出者数	9名
意見数	37件

3 提出されたご意見とご意見に対する本市の考え方

ご意見の分類と反映状況

(1) 改定案に反映したもの	5件	No. 1～5
(2) ご意見の趣旨が改定原案等に含まれていると考えるもの	5件	No. 6～10
(3) 今後の参考とするもの	12件	No. 11～22
(4) 関係機関と情報共有するもの	13件	No. 23～35
(5) ご意見でなくご質問であったもの	2件	No. 36～37

※意見募集期間外に提出された意見については掲載していませんが、参考意見として取扱い、戸塚区の今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

(1) 改定案に反映したもの

No.	意見の概要	意見に対する考え方
1	<p>今回の意見公募に関し当社といたしましては、災害時に事業活動や市民生活が続けられるためのBLCP(業務・生活活動計画)(*1)が都市防災や地震に強いまちづくりには重要と考えています。「防災」の視点において、BLCPにより非常時でも事業継続され街としての機能が完全に失われず早い復旧に繋がり、また居住継続が可能になれば避難所の負荷軽減も図れることから、重ねて以下の意見をご提案させていただきます。</p> <p>(*1). BLCPとは… Business Living Continuity Planning 災害や事故に対して、最低限の事業活動や生活の継続を図るための危機管理に関する行動計画。</p> <p>p51「耐震化に向けた取組」に関する趣旨に賛同致します。弊社もエネルギー事業者としてライフラインの耐震性向上や災害時の復旧体制の強化は重要と考えており、日々取り組んでおります。</p> <p>横浜市都市計画マスタープランにおいては「安全安心のまちづくりのために、エネルギー供給の多重化を促進する」との記載があります。また、今年6月に策定されました横浜市気候変動適応方針においても「再生可能エネルギーや<u>コージェネレーションシステム等の自立分散型電源の導入を推進しています</u>」との記載がありますため、2つ目の項目に以下の通り、加筆(下線)することを提案いたします。</p> <p>・災害対応活動上重要な橋りょうや、…引き続き進めると共に、<u>災害時において事業活動や生活(居住)の継続を図るためのBLCP対策として、コージェネレーションシステム等の自立分散型電源の導入により電源の多重化を図ります。</u></p> <p>【理由】</p> <p>災害時でも事業活動や生活(居住)の継続を図るための危機管理に関する行動計画(BLCP)対策として、コージェネレーションシステムやスマートエネルギーネットワーク(*2)を導入することにより、停電時においても照明や空調のために電気と熱を供給することができます。“減災や早期復旧を推進する”という観点から、「災害発生時等の非常時の電源確保」は最重要課題の一つであり、電源の多重化によるエネルギーセキュリティ向上に向けた設備の導入としてBOS仕様(*3)のガスコージェネレーションの導入検討を推奨いたします。</p> <p>(*2). スマートエネルギーネットワークとは… 熱と電気を地産地消するコージェネレーションシステムを核として、熱と電気のネットワーク化、再生可能・未利用エネルギーの最大活用、ICTによるエネルギーマネジメントにより地域単位で最適なエネルギーシステムを構築するものです。</p> <p>(*3). BOS仕様とは… 停電時対応：停電した状態から発電の始動を行い、発電機を自立運転することができる仕様機。</p> <p>【関連資料】</p> <p>●横浜市都市計画マスタープラン全体構想(平成25年3月)</p> <p>P.116(3)災害時におけるライフラインの確保</p> <p>P.55 ⑦「震災や風水害などの自然災害に強い、安全安心のまちづくり」2行目「震災や局地的大雨による…(中略)エネルギー供給の多重化を促進します」との記載があり、「災害に強いまちづくり」が重要であると考えます。</p> <p>●横浜市気候変動適応方針(平成29年6月策定)</p> <p>P.34 4.産業・経済活動(2)施策の方針 ②エネルギー需給対策「本市では、再生可能エネルギーやコージェネレーションシステム等の自立分散型電源の導入を推進しています」</p> <p>※東京ガスの高圧・中圧ガス導管は、阪神・淡路大震災、東日本大震災クラスの大地震にも十分耐えられる構造となっており、災害時においても原則として都市ガスの供給を停止しません。</p>	<p>ご意見を参考に、p51「耐震化に向けた取組」の記述を修正しました。</p>

2	P43 今井インターチェンジを追加してほしい。	改定案 P43『都市交通の方針図』に記載を追加しました。
3	P44 都市環境の方針において、素案では、「まとまった緑地について、土地所有者の協力を得ながら特別緑地保全制度を活用し、出来る限り保全していきます」とありましたが、今回、原案では、文頭に「緑の10大拠点をはじめとした」と追記されています。横浜市「水と緑の基本計画」においては、緑の10大拠点である大池・今井・名瀬地区について、「市民に親しまれることも自然公園や市街地に隣接する緑の拠点を保全し、レクリエーションの場としての活用を図ります。」と書かれています。緑の10大拠pointsの捉え方としては、保全・活用・創造が主旨であり、戸塚区プランにおいても、「緑地と谷戸環境の保全」「農地の保全」とありますが、“保全”のみでなく、“活用”について、記述があってもいいかと考えます。また、これに関連して、P58「周辺に広がる樹林地など、緑の拠点を保全していきます」についても、“活用”を加えてもいいかと考えます。	ご意見を参考に、P44「農地の保全」について、記載内容に合わせてタイトルを修正しました。緑地や農地の土地利用の転換が行われる場合の考え方については、改定案P40「(3)自然系土地利用ゾーン」に記載しています。
4	P53 遊水池は“地”。防災マップは“地”です。	改定案 P53『都市防災の方針図』の記載を修正しました。
5	p58 東戸塚駅周辺のまちづくり方針<現状と課題>の駅の乗降客数について、素案の際には、「平成27年には約116,300人となり、約7.6倍となっています」とあったところ、今回の原案では、「平成26年には約115,200人となり、約7.5倍になっています」と一年前の数値に変更されています。横浜市ポータルサイトで公開されている、一日平均乗車人員を確認すると、平成27年は58,172人とあり、間違っていないように思います。なぜ平成26年の数値に変更されたのでしょうか。東戸塚駅は、開業当初から約7.5倍以上の利用者がいて、不便であることに変わりありません。「近年横ばいになっている」という記述は本当に必要でしょうか。「近年横ばいになっているが、約7.5倍以上になっている」という記述のほうが正しいのではないのでしょうか。ご検討いただけますようお願い申し上げます。	原案では、他のページと年度の整合を取るために、平成26年の数値を採用していました。改定案では、最新の平成28年のデータを採用しています。また、ご意見を参考に、東戸塚駅の乗降客数に関する記述を修正しました。

※そのほか、関連計画の時点修正等により、記述を変更している部分があります。

(2) ご意見の趣旨が改定原案等に含まれていると考えるもの

No.	意見の概要	意見に対する考え方
6	「鉄道駅を中心としたコンパクトな市街地の形成」と33ページに記載があります。横浜市の上位計画でもコンパクトシティについての言及は見受けられますが、具体的に市としてはどのような取り組みを進めていかれるのか気になります。東戸塚について考察するに、駅への集約を図る以前に駅機能の改善は急務であると見受けられます。また、駅周辺に分布している緑やビル、および周辺部に分布する戸建て住宅や団地の配置を抜本的に見直す必要があると感じます。民間主導で成長してきた東戸塚で、行政の力も取り入れることでより良い街が実現できると考えます。	横浜市では、鉄道駅を中心とした生活しやすい環境を整えるため、商業施設や子育て支援施設といった生活利便施設等の集積や、地域交通の維持・充実を推進することにより、駅周辺の機能を整備することを施策として掲げています。東戸塚駅の混雑については、改定案P58「(2)東戸塚駅周辺」に混雑緩和対策の検討について記載しています。また、駅周辺において計画的なまちづくりが行われる場合の方向性については、改定案P40「(3)自然系土地利用ゾーン」に記載しています。

7	P34 「計画を上回る大雨」という表現は、単位時間あたり雨量に対応した、河川、下水の災害対策計画でしょうが、大雨を直接計画できないので、違和感があります。	浸水被害等の軽減に向けて、下水道施設等を整備する際に見込んである降水量を“計画”という言葉で表現しています。
8	P38 「区内、市内の各地や、首都圏～」とありますが、戸塚区の南部からは大船、藤沢、湘南台、長後にも移動しますから、湘南を追加してほしい。	「首都圏等」に含まれると考えます。
9	自然系土地利用ゾーンの考え方について、40 ページに記載されています。すなわち、「～社会環境の変化等に応じて土地利用の転換が行われる場合には、周辺の土地利用状況を踏まえ、適正な誘導を図ります。」とあり、さらに「秩序ある都市的土地利用の実現を図る場合には、～(中略)土地利用の在り方について検討していきます。」と明記されました。この度の、区プラン改定素案に対する意見募集の中には、「緑の10大拠点」地域に関する意見が複数出ておりますが、その回答(意見に対する考え方)はいずれも「～水と緑の基本計画に位置付けられています。」とあるのみで、具体性を欠いています。 緑の10大拠点は、地域の特性を生かしながら、緑の保全・創出・活用を推進するところとしていながらも、都市的土地利用の実現を図る場合においては、土地利用の在り方について検討していく——と解釈もできますが、それでよろしいのでしょうか。	緑の10大拠点は、「地域ごとの特性をいかしながら優先的に保全・活用し、次世代に継承していく地区」です。 鉄道駅周辺において計画的なまちづくりが行われる場合についての方向性は、改定案 P40 「(3)自然系土地利用ゾーン」に記載しているとおりです。
10	P57 桂町戸塚遠藤線 高嶋橋の信号機が記述もれ	P57 では全ての交差点(信号)を記載せず、P56 の記載内容に関係する部分を選択して掲載しています。

(3) 今後の参考とするもの

No.	意見の概要	意見に対する考え方
11	汲沢在住です。 環状線などどんどん便利になる反面、自然や昔ながらの良さが消えていく寂しさもあります。 また住みたい町としての評価でさらに人口は増えると考えます。 宿場町で農作物を提供していた歴史を踏まえ、何世代にも渡り共通の認識で活動できるアクションプランを増やした方がいいと考えます。 地産地消に力を入れていることもあり、区役所内や休眠施設に宿場町戸塚を復元させて観光要素を取り入れた構想など、戸塚らしいプランをお願いします。	戸塚区では、「歴史を生かしたまち育て事業」として、旧東海道の宿場町に代表される戸塚区ならではの歴史的資源を生かしたまちづくりを進めています。区民の方々と協働でイベント等を実施することにより、地域の歴史や魅力を再認識し、愛着が持てるまちづくりを推進していきます。 いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。
12	P19, 46 「秋葉、柏尾周辺地区街づくり協議指針」では、親水遊歩道が、大山跨線橋から、北へ秋葉大橋まで続いています。 ①親水遊歩道を、秋葉大橋から更に北へ、山田谷橋まで延伸してほしい。 ②山田谷橋付近、川上川と平戸永谷川の合流点の景色が良いので東屋(水辺拠点)を整備してほしい。	いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。今後も、「秋葉、柏尾周辺地区街づくり協議指針」等に基づいて事業者と協議を行いながら、歩行者空間の確保や浸水対策等の環境改善につながるまちづくりを進めます。

13	<p>横浜市においては、緑地保全制度などにより、樹林地の新規指定が拡大している一方で、新たに水・緑環境の総量を示す指標として「水緑率」を設定。量とともに質並びに魅力アップに取り組んでいることを承知しています。</p> <p>緑の総量拡大に注力することは大事ですが、質的な向上は今後より重要で、住民要望も高まっています。その背景には都市部に近い樹林地・山林等では、近年かなり荒れた林地が目立つようになっており、近づき難い場所さえあるからです。</p> <p>健康づくりやスポーツニーズの面からも、快適な公園や森、緑豊かな街路は欠かすことは出来ません。民間の力を活用して、樹林地内における下草刈りや、散策路の整備を適切に行い、将来的には林地でのトレッキング、アルペンウオークなども可能にすることで、市民生活に身近で魅力ある場所に変えていく必要があると考えます。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>P46, 48, 51 平戸永谷川を港南区と連携して、整備してほしい（戸塚区前田町、赤迫橋～港南区下永谷 6）。港南区では、平戸永谷川を整備しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いに桜など並木、植栽、花壇、ベンチ、トイレ、案内板 ・平戸永谷川遊水地の遊歩道、東屋、水辺拠点、トイレ ・遊水地の拡幅、深堀による、容量増加 	<p>いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>阿久和川も同様で、上矢部、岡津付近を泉区と連携して連続して整備してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いに桜など並木、植栽、花壇、ベンチ、トイレ、案内板 ・川沿いに雨水池を、一例、上矢部インター付近、横浜新道の下 	<p>いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>P51, 52 電源の多重化の推進</p> <p>公共、公益から、導入してほしい。「地域防災拠点の情報伝達基地～」とありますが、ここの情報通信機は、バッテリー電源、で多重化バックアップした装置が望ましい（蓄電器やエネファーム）。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>P52 災害時物資の提供の協定に電力を追加する。</p> <p>物資の供給は幸いなことに戸塚区は恵まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災時に心配なのは、停電して情報が取れないこと、電気が重要と考えます。特に夜間。どこの電柱が倒れるか、どこが停電するかは事前には分からない。 ・（地域）防災拠点などはまず発電機を起動すると考えますが、ケアプラザやクリニックなどが心配です。そのため、携帯電話、防災無線だけでなく、FAX やテレビで情報ルートを多重化する。できれば蓄電池が有効と考えます（手間がかからない。発電機は面倒）（一例として、拠点にある発電機は、腕力がないと起動できない。私の力ではできない）。 <p>震災時対策として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ケアプラザやクリニックに対し、蓄電池設置費用を補助する。 2) 自家発電設備を持つ事業者、（市民）から、電源を供給してもらう。 <p>地震対策電源協定を結ぶ。協定物資の中に電力を追加する。非常用に自</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>分が使う分に余裕がある場合。外部供給能力以上の電流が流れない様に、ブレーカなどが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムなど(系統停電時自立方装置、過電流防止装置) ・工場などが夏休みの場合、非常用発電機に余裕ができる可能性がある。 	
18	<p>P52 液状化情報の共有化</p> <p>俣野町の川沿いでは、住宅新築時に、液状化対策の工法で建てる例が散見します。液状化調査の結果を市民が、公開する制度、枠組み、協同はできないでしょうか？(液状化対策工法の実施、未実施に関わらず。)</p> <p>個人情報ですから、詳細な番地までは難しい。</p> <p>「液状化検査会社など」と住宅を建てる人との間に、秘密保持(非公開契約)があれば難しい。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、横浜市では、公共事業の施工対象地における地盤(ボーリング調査)に関する情報を、行政地図情報提供システム(地盤View)で公開しているものがあります。</p>
19	<p>P53 汲沢は、深谷通信所跡地との間に、緩衝地域(調整区域)があるので良い方だが、泉区中田は、一帯が同時に燃えると、うまく逃げられるのか心配だ。両区が連携して、「汲沢、中田合同」の消防訓練、避難訓練をする。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>P57 戸塚駅周辺まちづくり</p> <p>東口暫定広場、駐輪場について(概要)(「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり」に対する意見と同内容のため最低限)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東口暫定広場の地下を駐輪場にする。 ・駐輪場と戸塚駅地下を連続させる。 ・元吉倉橋を乗用車が通れる橋にする。 	<p>戸塚駅周辺における交通渋滞や駅前交通広場の混雑、歩行環境等の改善については、「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」のなかで検討していきます。</p> <p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
21	<p>東戸塚駅の再開発は、西口の調整区域、小学校の建て替えと連携した計画を。現川上北小学校は建物が古く、いずれ建て替えです(時期不明)。</p> <p>西口の北部にバスターミナル(保育所や駐輪所との複合化)、北部に新小学校(保育所など福祉施設との複合)その北には公園、(雨水調整地)を整備する(調整区域の市街化)。</p> <p>小学校については、川上北小は、建て替えの際に、高層化、複合化をはかる。グランド面積は、現在の水準を維持しつつも、敷地は少し減らす。</p> <p>新小学校と川上北小の両方で、児童ひとりあたり、敷地、グランド面積を増やす。</p> <p>川上北小の東部と南部を約70m削り、代わりに、川上川を平均2mぐらい広くする。川上川の北の歩道を1mぐらい広くする。70m×(1+2)mで210㎡学校敷地を減らす。減った分は高層化で対応する。</p> <p>川上川および歩道は、親水機能、並木、小公園、植栽、花壇、トイレを設置する(水と緑のネットワーク)。川は、できれば、自然川再現を行う。できれば、暗渠部分を減らす。</p> <p>【上記提案に基づいた整備計画案の模式図あり】</p>	<p>東戸塚駅周辺のまちづくりについては、P58に記載している<目標像>に基づいて検討を進めます。市街化調整区域から市街化区域への編入については、「横浜市の都市づくりの基本的考え方(平成27年3月)」における、「線引き見直しの基本的考え方・線引き見直しにおける基本的基準」に基づいて検討されます。</p> <p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
22	<p>東戸塚北西部の開発について(P58)</p> <p>東戸塚西口 駅北西部の土地利用(については)バスターミナルと小学校及び保育所及び(病院等)の複合施設の2つに限定して、市街化区域</p>	<p>東戸塚駅周辺のまちづくりについては、P58に記載している<目標像>に基づいて検討を進めます。市街化調整区域から市街化区域への編入に</p>

	<p>とする。但し、現状の山林の保水力に見合う保水力、または緑を川上川流域で増やすことを条件とします(水害の可能性が増えると良くないです。)</p> <p>【上記提案に基づいた整備計画案の模式図あり】</p>	<p>については、「横浜市の都市づくりの基本的考え方（平成27年3月）」における、「線引き見直しの基本的考え方・線引き見直しにおける基本的基準」に基づいて検討されます。</p> <p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
--	--	--

(4) 関係機関等と情報共有するもの

No.	意見の概要	意見に対する考え方
23	<p>バス路線の改良について (P21, 41)</p> <p>P21 で、バス停から 300m の範囲外で、バス路線の新設案を示します。</p> <p>① 柏尾町 県営柏陽台団地</p> <p>② 戸塚町 南部日の出橋(日の出橋(既存)→金井公園北(新設)→金井(既存))</p> <p>③ 深谷通信所跡地の外周道路(汲沢中前(新設)→深谷小北(新設)→下和泉(新設)→通信隊前(既存))</p> <p>④ 名瀬の「たかの台住宅地」</p> <p>【それぞれ、バス停の新設箇所案を示す模式図あり】</p>	<p>いただいたご意見を関係機関と共有します。</p>
24	<p>P21 ・バス路線に下飯田駅を追加してほしい。</p> <p>・戸塚大船線にバス停(金井-住友電工前-田谷)を追加してほしい。</p>	<p>いただいたご意見を関係機関と共有します。</p>
25	<p>P36 舞岡駅にバスターミナル、トイレ(地上)、駐輪場(追加、増築)を作ってほしい。出入り口を追加してほしい。</p>	<p>いただいたご意見を、関係部署と共有します。</p>
26	<p>P41 公共交通の充実</p> <p>東戸塚-岡津-踊場にモノレール(シーサイドラインを小型にしたもの)を新設してほしい。</p> <p>【理由】</p> <p>公道ができていて土地収用のコストが少ない。</p> <p>【ルート案を示す模式図あり】</p>	<p>いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
27	<p>P43 県道瀬谷柏尾の幹線道路整備に賛成しますが、どこかで計画した道路を見直さないと、際限なく計画が増えるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見を、関係部署と共有します。</p>
28	<p>P43 ・踊場-戸塚駅間に新駅を作ってほしい。</p> <p>・舞岡-戸塚駅間に新駅を作ってほしい。</p>	<p>いただいたご意見を、関係部署と共有します。</p>
29	<p>P44 汲沢6丁目36番地付近を農業専用地区に指定してはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を、関係部署と共有します。</p>
30	<p>P48 工業集積地域</p> <p>・組み立て加工機能を持った物流会社、(製造業と倉庫業の中間)(製造受託会社)や卸売り機能を持った、「物流、流通会社」を誘致してはどうか。</p> <p>・部品や装置の卸売り、代理販売会社が製造業に展開する例がある。</p>	<p>いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
31	<p>P51 柏尾川分水路を新設</p> <p>・旭区の帷子川分水路の事例があります。</p> <p>・金井遊水地より、地下トンネルの分水路を作り、境川河口までつなげる</p>	<p>いただいたご意見のような計画は現在ありませんが、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>(費用はかかりますが、効果は高いと考えます)。</p> <p>【分水路の整備箇所案を示す模式図あり】</p>	
32	<p>P53 ・人口が増えている地区、火災対策地域には消防出張所がもう少しほしい。名瀬地区、戸塚町南部に新設できないか。</p> <p>・出火減少、初期消火に有効な、感震ブレーカ、消火器、消火栓の増加を。</p>	<p>いただいたご意見を、関係部署と共有します。</p> <p>関係部署と連携し、感震ブレーカの設置など、地域の防災力の更なる向上に向けた取組を推進します。</p>
33	<p>P53 中田、汲沢が、延焼、被災した場合、大量の水が必要になるので深谷通信所跡地には、大きな配水池、タンクを作ってほしい。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
34	<p>P56 戸塚駅まちづくり</p> <p>駅前の混雑や、駐輪所不足ですが、人口が増えるのは良いことです。駅の近くに主要施設をコンパクトにまとめる以上、必然と考えます。それに加え、戸塚駅周辺では、工場やその会社の厚生施設などが、マンション(集合住宅)に用途変更しました。他の駅より駐輪場不足が目立つ。上記の建物の跡地はまだ一部更地であり、マンションが建つ可能性はあります。</p> <p>柏尾川沿道の工場は、耐用年数がすぎれば、売却され住宅化する可能性がある。</p> <p>東口の再開発の具体案を提案します。現在の交通広場の東は駐車場、北は業務、商業、サービス施設、住宅です。現在の東口暫定交通広場及びその東部、北部を、面積としては、東口駅前広場と同じくらい再開発し、集合ビル「ラピス4(仮称)」を作る。</p> <p>1階：パスターミナル、マンション送迎バス及び「福祉車両」の発着所 2～4階：公益(保育所など)業務、商業、サービス施設、カフェ 5階：住宅</p> <p>B1階：有料駐車場、有料駐輪場、JR駅改札連絡通路 B2階：有料駐輪場、市営地下鉄連絡通路</p> <p>屋上：水道タンク、太陽電池、植栽</p> <p>【上記提案に基づいた整備計画案の模式図あり】</p>	<p>戸塚駅周辺における交通渋滞や駅前交通広場の混雑、駐輪所不足等の改善については、「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」のなかで検討していきます。</p> <p>また、戸塚駅周辺のまちづくりについては、P56に記載している〈目標像〉に基づいて検討を進めます。工場跡地に大規模な集合住宅が建設される場合には、小学校の教室不足や生活インフラの不足など様々な課題が発生するため、地域の状況を考慮した計画を誘導します。</p> <p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
35	<p>◎水害について、流域で管理、対策を。</p> <p>【課題(市)】</p> <p>平成16年大水害に続き、平成26年10月、台風18号により、各地で浸水など被災した。</p> <p>和泉川、阿久和川、惟子川、(河川の溢水による床下、床上浸水)～その他略</p> <p>【課題(区)】</p> <p>戸塚区でも起きている。(略)俣野町でも生じているが、河川の溢水による床下浸水ではない。原因、被災内容が違う。俣野町では、汚水下水管からの逆流で被災している。下記2地点(430番地付近、グラウンド入口付近)。</p> <p>以下は事実で下水の配管は市のネット上の地図(下水道台帳)よりわかる。</p>	<p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>大雨で、通常以上の下水（汚水）が流れる。（上流で污水管に雨水、地下水などが混入する。）</p> <p>①俣野町 430 番地付近から、俣野小学校に続く（污水管が、自然の高低差を利用した、配管になっていない（雨水下水配管はなっている）。</p> <p>②俣野町、明治学院大グランド入口前の信号機付近で、污水管が合流する。</p> <p>【解釈】</p> <p>いずれも、汚水が溜まり易い地形、構造である。溜まるから溢れる。</p> <p>【提案】</p> <p>①. 俣野町 430 番地付近</p> <p>シンプルに雨水配管と同様に、污水配管を、北から南へ自然高低差を利用して新設する。</p> <p>②. 俣野町、グランド入口前の信号機付近</p> <p>合流点からの配管（合流点から下流域、何百 m かは不明）の勾配を変えて、溜まらないようにする。または、配管の径を太くする。自然流下しないならポンプで汲み上げて流す。</p> <p>◎以下は、俣野だけではなく、市、区全体事項です。</p> <p>污水配管をネットワーク、流域で改善する。河川、川、雨水下水道に準拠する。配管の経年変化、劣化に伴い、地下水などの混入の増加が予測され水害が予測される。</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水処理場を新設する。 ・ 污水配管のバイパスを新設し、ネットワーク化する。 ・ 自然流下しないならポンプで汲み上げて流す。 ・ 雨水貯留施設、池、遊水地同様に、污水貯留施設、池、遊水地を作る。 ・ 溜まり易い地域の配管を定期的に掃除する。 ・ 污水配管のひびや誤配管の点検調査と改善。マンホールの点検、調査など。 	
--	--	--

(5) ご意見でなくご質問であったもの

No.	意見の概要	意見に対する考え方
36	<p>44 ページの「3. 都市環境の方針（1）緑の豊かなまちづくり」に緑の保全や景観の形成についての記載があります。緑の 10 大拠点を中心として戸塚には多くの豊かな緑が残されており、今後も自然が豊かな戸塚であってほしいと願います。</p> <p>ですが、緑の保全・活用方法には工夫を施していただきたいと思えます。単純な緑地を分布させるのではなく、質の高い緑の実現を目指してはいかがでしょうか。緑地帯の中に、一般市民が行き来のできるような遊歩道を設けたり、その遊歩道の途中に休憩所を設けたりして、景観として美しく市民が利用でき親しみのもてるような緑地を設けていただきたいです。</p>	<p>緑の 10 大拠点は、市域に残されたまとまりのある樹林地や農地、湧水や水辺など多様な自然が残されている地域であり、面積に基づいて指定したものではありません。</p> <p>緑地・農地といった自然環境の保全・活用については、「水と緑の基本計画（平成 28 年 6 月）」等に基づいて、周囲の環境との繋がりに配慮しながら地域にふさわしい多様な緑の創出を図ります。</p> <p>いただいたご意見を関係部署と共有し、今後の</p>

	<p>それぞれの緑の10大拠点には必要面積等は定められているのでしょうか。もし、定められているのであれば、一定条件を満たす「質の高い緑地」については緑地としての面積を通常よりも割増してカウントする(一定の係数をかけて算出する)等、条例上の優遇措置を施していただきたいです。(例えば、10,000㎡の緑地が必要であったとして、そのうち1,000㎡の「質の高い緑地」には係数1.3を掛け合わせて1,300㎡の緑地とみなし、残りの一般的な緑地は8,700㎡設ける)</p> <p>以上のようにすることで、「質の高い緑地」を集中的に設けることができ、場合によっては緑地が集約されたことで生じた余剰分の土地を商業施設などの他の用途に用い、より良い都市環境の形成が図れると思います。(上記の例で言えば、300㎡が余剰分として都市空間に利用できる)</p> <p>「質の高い緑地」と都市空間の両立を実現していただきたいです。</p>	<p>参考とさせていただきます。</p>
37	<p>P19, 39 工業地区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業専用地域であれば住宅は建たないと考えます。工業地域は、住宅は建てられますか？工場だったのに、なぜ集合住宅が建つの？ ・用途に転換があるという事は専用地域ではないということでしょうか？ ・「工業地区」と「工業地域」、「工業専用地域」という用語がまぎらわしい。 ・現在の準工業地域を工業専用地域に変更することはできますか？ 	<p>主に工場や研究所等の用途の建築物が立地している地域(ゾーン)を、本案では「工業地区」としています。</p> <p>「工業地域」及び「工業専用地域」は、建築基準法で定められた用途地域を表しています。</p> <p>「工業地域」には住宅を建築することが可能ですが、特別に許可を得た場合を除き、「工業専用地域」では住宅は建築できません。用途地域については、現状の土地利用を踏まえ、将来に向けた適切な土地利用の誘導を図るため、都市計画法に基づいて見直しが行われる場合があります。</p>